

芸術活動と社会の関係を考えるシンポジウム

地方の現場から演劇の未来を考える

9月27日(土) 19:30~22:00

スタジオ 料金:無料

早稲田大学グローバルCOEと鳥の演劇祭実行委員会との連携によるシンポジウムです。

地方における演劇の意味についての根源的な問いを追求、地方ならではの(サイトスペシフィックな)演劇体験の意味、集合的記憶との関係、コミュニティ形成と演劇、地域の中で文化を支えるしくみをどう構築するか、観客の問題などを扱います。

主催:早稲田大学演劇博物館グローバルCOE「演劇・映像の国際的教育研究拠点」芸術文化環境研究コース 鳥の演劇祭実行委員会
鳥の劇場08年度プログラム“試みるプログラム”



■司会

野田邦弘(鳥取大学地域学部教授)

■パネリスト

伊藤裕夫(富山大学芸術文化学部教授)*

松井憲太郎(学習院大学大学院人文科学研究科講師/演劇批評家)*

小林真理(東京大学大学院人文社会系研究科准教授)*

恵志美奈子(世田谷パブリックシアター学芸)*

五島朋子(鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授)

中島諒人(演出家/鳥の劇場主宰)

*=早稲田大学演劇博物館グローバルCOE
「演劇・映像の国際的教育研究拠点」芸術文化環境研究コース客員講師

